

平成24年度 お茶の水女子大学経営協議会（第6回）議事録

日 時：平成25年3月19日（火）15：00～16：10

場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）

出席者：（学外委員）足立委員、池田委員、槍田委員、小倉委員、北村委員、國井委員
（学内委員）羽入学長、市古理事、耳塚理事、河村理事、江澤理事、
鷹野副学長、三浦副学長（戦略担当）
（陪 席）斎藤監事、
三浦文教育学部長、最上理学部長、大塚生活学部長、
高崎附属学校部長、
香西財務室長、新井総合評価室長

1. 開会

2. 〔平成24年度（第5回）〕議事録（案）の確認

- 修正等がある場合は、本日から一週間を目処に、総務チームまで連絡することとした。

3. 審議事項

（1）平成25年度国立大学法人お茶の水女子大学年度計画（案）について

- 総務機構長より、平成25年度国立大学法人お茶の水女子大学年度計画について、【資料3】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）平成25年度学内予算（案）について

- 総務機構長及び財務チームリーダーより、平成25年度学内予算について、【資料4】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（3）平成24年度学内補正予算（第2次）（案）について

- 総務機構長及び財務チームリーダーより、平成24年度学内補正予算（第2次）について、【資料5】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（4）国立大学法人お茶の水女子大学授業料等免除及び徴収猶予取扱規則の一部改正について

- 教育機構長より、国立大学法人お茶の水女子大学授業料等免除及び徴収猶予取扱規則の一部改正について、【資料6】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 報告事項

（1）次期経営協議会委員について

- 学長より、次期経営協議会委員について、【資料7】に基づき報告があった。

（2）平成25年度教育研究評議会評議員について

- 学長より、平成25年度教育研究評議会評議員について、【資料8】に基づき報告があった。

（3）平成25年度運営費交付金内示の概要について

- 総務機構長及び財務チームリーダーより、平成25年度運営費交付金内示の概要について、【資料9】に基づき報告があった。

(4) 平成 25 年度入学試験実施状況について

- 教育機構長より、平成 25 年度入学試験実施状況について、【資料 10】に基づき報告があり、社会的な需要に合わせて定員の見直し、学科等の再編が必要であるとの指摘があった。

関連し、志願者獲得のため入試広報の在り方を検討する入試広報プロジェクトチームを設置し検討を開始したこと、このプロジェクトチームの検討を踏まえ、高等学校の教員向けオープンキャンパスの開催、桜蔭会支部への働きかけを計画していることの報告があった。

(5) 外部資金受入状況について

- 国際・研究機構長より、外部資金受入状況について、【資料 11】に基づき報告があった。

(6) 平成 24 年度における本学の主な活動について

- 学長より、平成 24 年度における本学の主な活動について、【資料 12】に基づき報告があった。

5. 意見交換

(1) 寄附事業について

学長より、2年後の平成27年に創立140周年を迎えることから、周年事業を想定した寄附の在り方について、また、教育研究経費の削減に対抗する寄附の獲得について、ご助言願いたい旨発言があった。

■学外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・全額寄附で構築するのではなく、「マッチングファンド」式で進めることもあるのではないか。
- ・企業の要請に、柔軟に対応できるようにしてもらいたい。
- ・理系に進学する学生へ、奨学金を支給していかないといけないと考えている。
- ・大学が主体になって、寄附の目的を、建物の建築よりも留学費用等社会ニーズに即した奨学金に、比重を移していただきたい。
- ・学費の確保の観点からも、女性に奨学金を支給することは重要である。
- ・卒業生は、母校に貢献することによっても自己を確認することができる。卒業生にそのような機会を提供するような制度を設けていただきたい。

■本学からの主な回答・発言は以下のとおり。

- ・「マッチングファンド」式の導入等、文部科学省にも交渉して行なっていきたい。
- ・周年事業の寄附としては、記念館の建設も候補のひとつと考えている。
- ・事実として、資金不足のためだけに留学できない学生が多くいる。このような学生を派遣するための奨学金制度は、非常に重要かつ有効であると考えており、有意義な寄附目標のひとつと考えている。
- ・引続き、有効な手段等お教えいただきたい。

6. その他

(1) 平成 24 年度 A-W i L シンポジウムについて【資料 13】

- 学術・情報機構長より、平成 25 年 1 月 22 日に開催した「平成 24 年度 A-W i L シンポジウム」について、【資料 13】に基づき報告があり、謝辞が述べられた。

(2) 「グローバル人材育成推進事業」kick-off シンポジウムについて

- 国際・研究機構長より、平成 25 年 2 月 28 日及び 3 月 1 日に開催した「「グローバル人材育成推進事業」kick-off シンポジウム」について、机上配付資料に基づき報告があった。

- 今回を最後に退任される北村経営協議会委員より、ご挨拶があり、お茶の水女子大学の個性を強く打ち出した広報戦略を行なうこと、開発途上国の女性達にお茶の水女子大学が行なってきた教育を体系的に提供すること等について期待している旨述べられた。

- 学長より、平成 25 年度の開催予定について、【資料 14】に基づき説明があり、次回開催は、平成 25 年 6 月 18 日（火）15 時からであることを確認した。

また、平成 25 年度主要行事予定について、【資料 15】に基づきご案内があった。

以 上